

基本方向2 生涯にわたって楽しく学べるまち

政策	施策	No.	細目	細目の状況等	担当課（等）による事業の評価		まちづくり指標				担当課			
					評価	コメント	指標	見直し	H27目標			H32目標		
1 まちの未来を担う子ども・若者を はぐくむまち	(1) 幼児教育・学校教育の充実	61	幼稚園との連携の強化	国県の動向をみながら調査研究していく。	B	子ども・子育て会議などで幼稚園との情報共有に努め、連携強化を進める。			当初		当初		子ども課	
									見直し後		見直し後			
		62	幼保一元化に関する研究と検討	国県の動向をみながら調査研究していく。	B	利用者のニーズにより、必要に応じ事業者と協議。			当初		当初		子ども課	
									見直し後		見直し後			
		63	幼児期を支える家庭教育への支援	明るく生き生きとした家庭づくりのための講座やロビーコンサート等の開設。 ロビーコンサート（1回） 福祉健康課との共催講座（1回） 親子で学ぶ講演会（1回）	B	継続して実施。			当初		当初		教育文化課	
									見直し後		見直し後			
		64	学校施設の耐震化および老朽施設改修の推進	建物の耐震化は平成25年度に完了したので、今後は非構造部材の耐震化を進めていきたい。また、各学校共に老朽化が進んでいるが、安全性及び予算を考え、大規模な改修ではなく、補修することでの対応をしている。	B	継続して実施。	学校施設の耐震化（%）	無	当初	100	当初	100	教育文化課	
									見直し後	-	見直し後	-		
65	学校給食センター設備の充実	設備を良好に維持するため、保守点検や改善をしている。	A	設備を良好に維持するため、保守点検や改善をしているところであるが、施設設備の老朽化のため建て替えを実施			当初		当初		給食センター			
							見直し後		見直し後					
66	地域との連携・協力による教育環境基盤の充実	連れ去り防止や不審者対応避難訓練を実施。 岐阜県警による防犯教育の実施。	B	継続して実施。			当初		当初		教育文化課			
							見直し後		見直し後					
67	児童生徒の安全の確保	町で委託する笠松駅前ロータリー・東側横断歩道における安全確保業務、地域の見守り隊による児童生徒の登下校時の安全確保に努めている。町あんしんかさまつメールにより、保護者、学校、地域において不審者情報を共有。	B	継続して実施。			当初		当初		教育文化課			
							見直し後		見直し後					
68	確かな学力の定着	基礎学力の定着を図り、学習習慣の取り組み態度を育てるため、工夫を凝らした取り組みの実施。各小中学校で、プリント学習を実施、また中学校で、数学・英語において少人数指導を一部実施。	B	継続して実施。			当初		当初		教育文化課			
							見直し後		見直し後					

政策	施策	No.	細目	細目の状況等	担当課(等)による事業の評価		まちづくり指標				担当課		
					評価	コメント	指標	見直し	H27目標			H32目標	
1 まちの未来を担う子ども・若者を はぐくむまち	(1) 幼児教育・学校教育の充実	69	道徳や人権教育の推進	あいさつ運動やボランティア活動等への参加により、人と人のきずなづくりを通じて道徳心や人権教育の推進を図っている。各小中学校によるあいさつ運動、生徒のイベント等へのボランティア活動への参加等。	B	継続して実施。			当初		当初		教育文化課
									見直し後		見直し後		
		70	健康で健やかな体づくりの推進	児童生徒が食生活の大切さを知り、望ましい食習慣を身につけ、食べ物をとおして健康な体づくりできるように、児童生徒の発達段階に応じたきめ細かい食育の指導の実施する。また、給食の時間等で健康な体づくりを指導した。	B	継続して実施。			当初		当初		教育文化課
									見直し後		見直し後		
		71	夢を描くキャリア教育の推進	実際の知識や技術や技能に触れることで、学ぶことの意義や働くことの意義を理解し、生きることの尊厳を体感させる施策を実施。中学生の企業や役場等での体験学習、中学校で近隣の高等学校生徒による「キャリアステーション」を実施、進路指導の町事業補助金の実施。	B	継続して実施。			当初		当初		教育文化課
									見直し後		見直し後		
		72	情報・環境・国際理解教育の推進	情報教育の一環として、デジタル教材・情報モラル教育教材などを導入。システムエンジニア(SE)による保守点検や技術相談の実施。外国語指導助手による国際理解教育授業の導入。	A	学校におけるICT教育環境を積極的に推進していく			当初		当初		教育文化課
									見直し後		見直し後		
		73	地域に開かれた学校づくりの推進	ボランティア活動の実施、ホームページの充実。また、保護者が学校に来ることのできるような行事を増やしている。	B	継続して実施。			当初		当初		教育文化課
							見直し後		見直し後				
74	地域の歴史、伝統文化を尊重した教育の推進	ボランティア活動や講座を通じて、地域の歴史や伝統を主体的に学ぶ機会の充実を図る。総合学習での歴史学習、大名行列お奴や芭蕉踊りなど伝統行事への参加や町民運動会・リバーサイドカーニバルへのボランティア参加。	B	継続して実施。			当初		当初		教育文化課		
							見直し後		見直し後				
75	各学校の主体的事業に対する支援の充実	各学校の特色ある教育や研究への支援充実を図る。学校教育推進交付金の交付を実施。	B	継続して実施。			当初		当初		教育文化課		
							見直し後		見直し後				
76	学校教育における地域人材の活用	琴指導やクラブ活動指導、キャリア教育等で地域人材を活用。さらに岐阜工業高校の生徒さんの出前講座なども実施。	B	継続して実施。			当初		当初		教育文化課		
							見直し後		見直し後				
77	特別支援教育の推進	基礎学力の確実な定着や個々に応じたきめ細やかな指導を図るため、小中学校に非常勤講師の配置。小中学校に在籍する軽度発達障害のある児童生徒の学校生活における補助や安全確保等の支援を図るため特別支援アシスタントを配置。	B	継続して実施。			当初		当初		教育文化課		
							見直し後		見直し後				

政策	施策	No.	細目	細目の状況等	担当課(等)による事業の評価		まちづくり指標				担当課		
					評価	コメント	指標	見直し	H27目標			H32目標	
1 まちの未来を担う子ども・若者を はぐくむまち	(1) 幼児教育・学	78	いじめ・不登校の解消に向けた取り組みの強化	学校に通えない児童生徒対策として、学校心の教室相談員と学習支援アシスタントを設置、二町教育委員会が適正指導教室子どもサポートセンター「スマイル笠松」を開設、生徒のこころの様々な問題の予防や早期発見に努める。児童・生徒指導対策補助金で、HAI-QUの実施補助など様々な対策を実施。	B	継続して実施。			当初		当初		教育文化課
									見直し後		見直し後		
		79	教職員研修への支援	教職員の資質向上のため、教職員研究や研修事業に対する支援の実施。	B	継続して実施。			当初		当初		教育文化課
								見直し後		見直し後			
		80	学校・家庭・地域との連携の強化	地域ボランティアによる、小学生を対象にした体験型ふれあいの場を提供する講座を開講。わくわく広場（1期6回で3期。第2、第4土曜日の午前中）	B	継続して実施。			当初		当初		教育文化課
								見直し後		見直し後			
		81	青少年の健全育成に向けた意識啓発	青少年が日常生活の中で体験したり、日頃考えていることなどを広く発表する機会の実施。「少年の主張大会」 年1回	B	継続して実施。			当初		当初		教育文化課
								見直し後		見直し後			
		82	青少年を有害環境から守る活動の促進	青少年を非行から守り、健全に育成するために学校、家庭、地域住民、関係機関等が一体となり青少年育成運動の展開を図る。街頭啓発活動を「青少年の非行・被害防止全国強調月間（7月）」に、笠松町青少年育成町民会議と保護司会で実施。	B	継続して実施。			当初		当初		教育文化課
								見直し後		見直し後			
		83	青少年団体の活動支援	町子ども会育成協議会に対し、活動施設使用料、年3回会報誌「そだち」発行等の補助金を交付している。	B	継続して実施。児童数は年々減少傾向にあるため、加入人数を見直し。	青少年団体の加入人数(人)	有	当初	1,900	当初	1,850	教育文化課
									見直し後	1,600	見直し後	1,600	
		84	国際交流活動の推進	青少年海外派遣事業の実施（中学生対象）	A	青少年海外派遣事業（グアム）とあわせ、ホームステイ支援、英語検定補助を実施する。			当初		当初		企画課
									見直し後		見直し後		
	85	世代間交流や親子交流の促進	青少年育成町民会議が推進する三世代ふれあい活動を町内会単位で実施。夏祭り清涼大会、もちつき大会、ボーリング大会など	B	継続して実施。			当初		当初		教育文化課	
								見直し後		見直し後			
	86	青少年の地域活動への参加促進	町と学校が連携し、中学生ボランティア活動の活性化を図る。道徳のまち笠松のTシャツを中学生に支給し、こどもわくわく広場、町民運動会、Eポート大会のボランティア活動への参加拡大を図っている。	B	継続して実施。			当初		当初		教育文化課	
								見直し後		見直し後			

政策	施策	No.	細目	細目の状況等	担当課(等)による事業の評価		まちづくり指標					担当課		
					評価	コメント	指標	見直し	H27目標		H32目標			
2 誰もがいつでも、いつまでも学び、活躍できるまち	(1) 生涯学習の充実	87	ITを活用した学習情報の提供	公共施設予約システム導入し利用者の利便性を図る。 システム導入に向けた調査研究 ホームページ上での予約状況が確認	B	継続して実施。 公共施設予約システムを導入し利用者の利便性を図り、併せて公民館利用者の増加を図っていくもの。	公民館利用者数(人)	無	当初	91,000	当初	92,000	教育文化課	
								見直し後	-	見直し後	-			
						B	継続して実施。	図書室利用者数(人)	無	当初	8,800	当初	8,900	教育文化課
								見直し後	-	見直し後	-			
		88	生涯学習に取り組みやすい施設・利用環境の整備	平成23年度から申し込み方法を先着順から、定員を超えた場合は、抽選として変更した。また受付時間も午後9時30分まで延長し、申し込みやすくした。	B	継続して実施。 H27の生涯学習講座の定員数527人中、受講者数は、382人であった。今後の目標として、定員をクリアするものとする。	生涯学習講座受講者数(人)	有	当初	650	当初	650	教育文化課	
								見直し後	380	見直し後	530			
		89	ライフステージや学習ニーズに応じた多様な学習機会の提供	自らの生涯学習として様々な活動に取り組むため、生涯学習講座28講座(文化系23講座、体育系5講座)を実施。 年4回の企画展・私のコレクション・講演会の開催。	A	町民ニーズの把握を行い、より受講しやすい生涯学習講座を提供していく。 平成28年度からは年5回の企画展・私のコレクション・夏休み期間に子ども向け学習教室を実施予定。			当初		当初		教育文化課 歴史未来館	
								見直し後		見直し後				
		90	家庭の教育力向上に向けた乳幼児学級・家庭教育学級への支援	子育てを支援し、潤いのある豊かな家庭環境づくりを推進するため学習機会を設ける。 家庭教育シリーズ講座 3講座 親子教室の開催 24教室	B	継続して実施。			当初		当初		教育文化課	
								見直し後		見直し後				
91	現代的課題に関する学習機会づくり	新規講座開講(レクリエーション入門、環境とおさいふにやさしいエコ生活など)を提供。博物館機能をもつ資料館として、町民のニーズに応える企画づくり。	A	町民ニーズの把握を行い、より受講しやすい講座を提供していく。			当初		当初		教育文化課 歴史未来館			
						見直し後		見直し後						
92	地域固有の歴史・文化に関する学習機会づくり	笠松町文化協会、NPO法人「笠松を語り継ぐ会」、「まちの駅」等の企画と連携し活性化を図っている。 住民等の希望による歴史探訪の案内。	B	歴史未来館が6月開館のため、歴史探訪は平成27年度実施予定なし。 平成28年度から再び実施予定。			当初		当初		教育文化課 歴史未来館			
						見直し後		見直し後						
93	クラブ・サークル活動への支援	クラブやサークル紹介を行い、活動内容の紹介の場を設け、入会者増加等の支援を図る。 広報かさまつやホームページでサークル等紹介中央公民館内にサークル紹介掲示板を設置	B	継続して実施。			当初		当初		教育文化課			
						見直し後		見直し後						
94	生涯学習に関するリーダー等の育成と活用	講座の開講時に代表者を決め、受講者の自主的な活動を促し、学習への意欲と発表会に向けての意識の高揚を図り、講座終了後のサークル移行の中心となるリーダー育成を行う。 生涯学習講座ごとに代表者を選任。	B	継続して実施。			当初		当初		教育文化課			
						見直し後		見直し後						

政策	施策	No.	細目	細目の状況等	担当課(等)による事業の評価		まちづくり指標					担当課	
					評価	コメント	指標	見直し	H27目標		H32目標		
2 誰もがいつでもいつまでも学び、活躍できるまち	(2) スポーツ活動の推進	95	学習成果を活かす機会や場の提供	日頃の学習の成果を発表し交流を深めると共に発表する楽しさを知ってもらう機会を提供。 生涯学習講座発表会を毎年11月第3週に開催。	B	継続して実施。			当初		当初		教育文化課
									見直し後		見直し後		
		96	スポーツ活動に関する情報の提供	各競技団体、サークル、スポーツ少年団等の活動情報を提供及び、施設予約システム導入し利用者の利便性を図る。 ホームページや広報での活動紹介システム導入に向けた調査研究 ホームページ上での予約状況を確認	B	継続して実施。			当初		当初		教育文化課
									見直し後		見直し後		
		97	スポーツ・運動施設の整備	安全かつ、安心してスポーツを楽しめるように総合的かつ計画的な環境づくりの推進。 各種体育施設の整備・修繕。	B	継続して実施。	主な体育施設利用者数	無	当初	117,000	当初	128,000	教育文化課
									見直し後	-	見直し後	-	
		98	学校体育施設の開放および有効利用	学校体育施設であることを踏まえての利用方法、予算措置の見直しや、また、各種団体へのその利用方法を徹底を図る。 町による個別相談や指導により、団体間において、均衡性を保ちつつ、利用している。	B	継続して実施。			当初		当初		教育文化課
									見直し後		見直し後		
		99	スポーツ活動に関する指導者の育成	指導者の育成や後継者等については、「自助・共助」により、各種スポーツ団体の自主性を重視して育成を図る。また、指導者の高齢化に伴い、予算措置を含め、育成していく機会を設けるなど、公助としての支援を図る。本部員会議による意見交換の場の提供。	B	継続して実施。			当初		当初		教育文化課
									見直し後		見直し後		
100	各種スポーツ事業の普及・充実	各種スポーツの情報提供及び、体験型を視野に入れた普及活動等の展開を図る。 ホームページや広報などでの活動情報の提供 わくわく広場、親子教室（Eポート）で体験会実施	B	継続して実施。			当初		当初		教育文化課		
							見直し後		見直し後				
101	軽スポーツ等、誰もが楽しめるスポーツ活動の推進	誰でも楽しめるスポーツを広め推進するため、軽スポーツ大会の開催や町民運動会のメニューに、軽スポーツ的なものを導入。 スポーツ推進委員会を中心とした羽島郡健康ウォークの実施 町民運動会での軽スポーツの実施	B	継続して実施。			当初		当初		教育文化課		
							見直し後		見直し後				
102	体育協会やレクリエーション協会との連携による各種団体・クラブの育成	各種団体の交流を促進し、より一層、自主的に連携していくよう推進を図る。 町と体育協会やスポーツ推進委員等との意見交換 各種スポーツ行事（町民運動会、Eポート大会）の運営の各種団体等との連携	B	継続して実施。			当初		当初		教育文化課		
							見直し後		見直し後				
103	自主運営の促進および活動組織の整備	体育協会、レクリエーション協会。スポーツ推進委員会の考えを聞く場を設け、体育施設の利便性を向上させ、各種団体の自主的に運営の促進を図る。 町体育協会よりの要望書受理、回答 スポーツ推進委員会議（月1回）	B	継続して実施。			当初		当初		教育文化課		
							見直し後		見直し後				

政策	施策	No.	細目	細目の状況等	担当課(等)による事業の評価		まちづくり指標				担当課		
					評価	コメント	指標	見直し	H27目標			H32目標	
3 まちの歴史を次代につなぐまち	(1) 歴史・文化の継承と活用	104	未指定文化財の調査および発掘の促進	開発との調整に必要な埋蔵文化財包蔵地の分布調査を継続していく。	B	継続して実施。			当初		当初		教育文化課
								見直し後		見直し後			
		105	町の歴史・文化を伝える資料の収集・保存	住民等から寄贈された歴史資料の保存	B	継続して実施。			当初		当初		歴史未来館
								見直し後		見直し後			
		106	伝統芸能の継承	伝統芸能の保存会に対し、補助金の交付等を通じて継承者の育成を図る。奉納等の前の練習を通じて、振り手や踊り手の育成等を実施。常設展示にて笠松大名行列と円城寺の芭蕉踊りを紹介。	B	継続して実施。			当初		当初		教育文化課 歴史未来館
								見直し後		見直し後			
		107	資料保存のシステム化による文化財情報等の提供	「笠松町文化財めぐりガイド」と笠松町のホームページによる情報提供を行っている。収蔵資料目録の充実を図り、漸次HPによる公開を目指す。	B	継続して実施。			当初		当初		教育文化課 歴史未来館
						見直し後		見直し後					
108	文化財保護活動への支援	文化財保護審議会の意見に基づき、文化財の保護、保存を図る。文化財の標柱等の修復文化財保護審議会の開催、研修天然記念物等保護のための補助金の交付	B	継続して実施。			当初		当初		教育文化課		
						見直し後		見直し後					
109	文化財保護意識の高揚	講演会の開催等を通じて、町の文化財や歴史を学び、ふるさとを意識の醸成を図る。ふるさと笠松塾を年1回開催	B	継続して実施。 継続して実施。歴史未来館が6月開館のため、歴史探訪は平成27年度実施予定なし。内容を精選するため、大きく増やせない。	歴史・文化学習会の開催回数(回)	無	当初	2	当初	3	教育文化課		
						見直し後	-	見直し後	-				
110	歴史や文化を活かした住民活動の活性化	ボランティアとの連携を図り、歴史や文化を活かした住民の手作りの企画運営の実施。笠松町の歴史、史跡を学ぶウォーキングラリー等の実施。鮎船街道プロジェクトの開催。町民等の希望による歴史探訪の案内。	B	継続して実施。 歴史未来館が6月開館のため、歴史探訪は平成27年度実施予定なし。平成28年度から再び実施予定。			当初		当初		教育文化課 歴史未来館		
						見直し後		見直し後					